

# 織研教室

## CSRの見える化が企業成長を促す

社会貢献型事業

松本 大地

商い創造研究所代表取締役

地域に根ざした事業活動

「ニューシーズンズマーケット」(以下略NSM)は、アメリカ・オレゴン州ポートランド地域で9店舗を運営するスーパーマーケット。1999年の設立ながらも徹底的に地域に根差した事業活動により、今ではポートランドを象徴する企業となった。

「ホームグロウン」と紹

### 日常生活を充実させる経営

介された店頭の商品の3分の2は、オレゴン州、ワシントン州、及び北カリフォルニアの近郊で生産された地元産であり、野菜と果物の9割はオーガニック品で、肉や魚もトレーサビリティ(生産履歴)が徹底された人や環境にやさしい生産品が並べられている。

地域で生産されたものが地域で消費され、地域経済が潤うことで良質な生産活動が継続し、顧客に支持されることでNSMが成長を続け、その収益の一部を地

域に還元することで地域コミュニティのみならず街自体が繁栄する、地域循環経済が主軸となっている。

4月に掲載されたものが、地元紙「ポートランドトリビュン」はトップ面で「NSMが店出した周辺には住民移動による住居が増えることで、平均の不動産価格が17・5%上昇するNSM現象が起きている」と報じていた。

それはNSMが企業の社

にしているからである。

生産者のネット

ワーク

その見える化されたいくつかのCSR活動を紹介すると、「税引後利益の10%還元」として、08年には地域の環境保護団体、若者の教育支援組織など536の機関に寄付をした。

「スクリッププログラム」では、地元の公立学校へのサポートとして、各学校でNSMの商品券を販売し、その5%を学校教育支援として寄付し、08年は12万6000ドル、累計で71万

23万ドルになった。

その他、慈善活動をするボランティア団体には「ベネフィット・パーベキュー」として、各団体が募金を集めるパーベキューパーティーでの食材を無償で提供し、08年には6万ドルの成果をもたらした。

また、生活弱者に対しては、支援を必要とする高齢者宅に週1回無料の温かい食事を届け、65歳以上のシニアには毎週水曜日10%の割引を行っている。

一方、従業員への待遇も厚く、オレゴン州が定める最低時給8・4ドルに対し、

元雇用を創出した。

そして最もNSMが重要視しているのは、持続可能な社会を築くうえで欠かせない地域生産者とのネットワークづくり。小さな農家、牧場主、漁師、ワイン、ビール、チーズ製造会社などからは、約1000種類の良質な安心安全の地産品がつけられ、地域経済を潤わせている。

このように、地域に貢献するCSRを数値で表し、人づくり、モノづくり、そして地域コミュニティづくりの支援することで大きな支持を受け、地域一番店として存在しているのである。

会的責任(CSR)として、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、地域社会に役立ち、地域に幸福をもたらすことを実践し、すべてのCSR活動を数値で表して「見える化」し、CSR自体を企業成長の糧

を寄贈している。「スクール・フルーツ」というプログラムは、地元で収穫された一部のリンゴと洋ナシの売り上げをすべて地域コミュニティの学校に寄贈するシステムで、08年は8万8千ドル、累計で

NSMは10ドルと定め、1年以上働いたスタッフには利益の20%を分配している。NSMで働くことは収入のみならず、より良い街づくりにつながるために、志の高い優秀な人材が集まり、今では1800人の地

人本来の心豊かな生活は、身近な日常生活を充実させることであり、将来その施設や店舗が地域にどのような愛され、顧客にどのようなメリットをもたらすかというストーリーを描くことが、価格戦略よりも大切であることを、NSMのCSR活動は示唆している。



スクール・フルーツのりんごの売り上げから地域学校教育に寄付される



店内にはホームグロウンの地産品が並ぶ